



2024年2月1日
尚徳福祉会 松が丘保育園

あっという間に2月へ突入しました。寒さがピークを迎える中、子ども達は「おさんぽいこ!」「おそといく～」と元気に遊んでいます。ふとしたときに、「おにさん?」と節分を意識している子もちらほら……。体調も崩しやすく、感染症も引き続き心配されますが、体調管理をしっかり行いながら乗り切っていけたらと思います。

2月のねらい

- ・季節ならではの行事にふれ、興味をもつ。
- ・生活の流れが分かり、保育者に見守られながら簡単な身のまわりのことを自分でしてみようとする。
- ・保育者や友達と、言葉のやりとりや模倣遊び、ダンスなどを楽しむ。



2月の予定

1日(木)	身体測定
2日(金)	節分の会
7日(水)	りす組保護者会
22日(木)	避難訓練

まねっこ(模倣)あそびといたずら

おみせやさんごっこやおままごとが、より活発になってきたりす組さん。保育室ではおままごとのフライパン、鍋、お皿、コップなどを並べてお料理したり、赤ちゃんや動物のぬいぐるみを大事そうに抱えてお出かけのまねをしたり……。保育者に「せんせいどうぞ～、スプーンでたべてね」「あっちっち(熱い)ね～、ふーふーする?」など、具体的な言葉でおしゃべりをするのもあるのでとても驚きます。

まねっこ(模倣)遊びは子どもの発達や成長においてとても大切な過程。信頼する大人(保護者の方や保育者)のまねをすることで、言葉の発達、発想力、想像力など様々な力が育まれます。

また、遊びや生活の中で「いたずら」も増えていきます。ブロックを組み立てている途中でいきなり崩す、ティッシュをひたすら出してみる、ご飯のお皿をひっくり返す……など、ご家庭でもいろいろないたずらが見られているのではないのでしょうか?

子どもは「作る」よりも「壊す」「崩す」の方が面白さを感じやすく、「どうしてこうなったんだろう?」と好奇心をくすぐったり、「自分はこんなことができるんだ!」と自己有能感に繋がったりするそうです。園ではいたずらも安全な範囲で見守り、「これがしたかったんだね」と気持ちを受け止めることを意識しています。